

# 技術戦争の最前线

# ゼミ

# 板木ゼミ

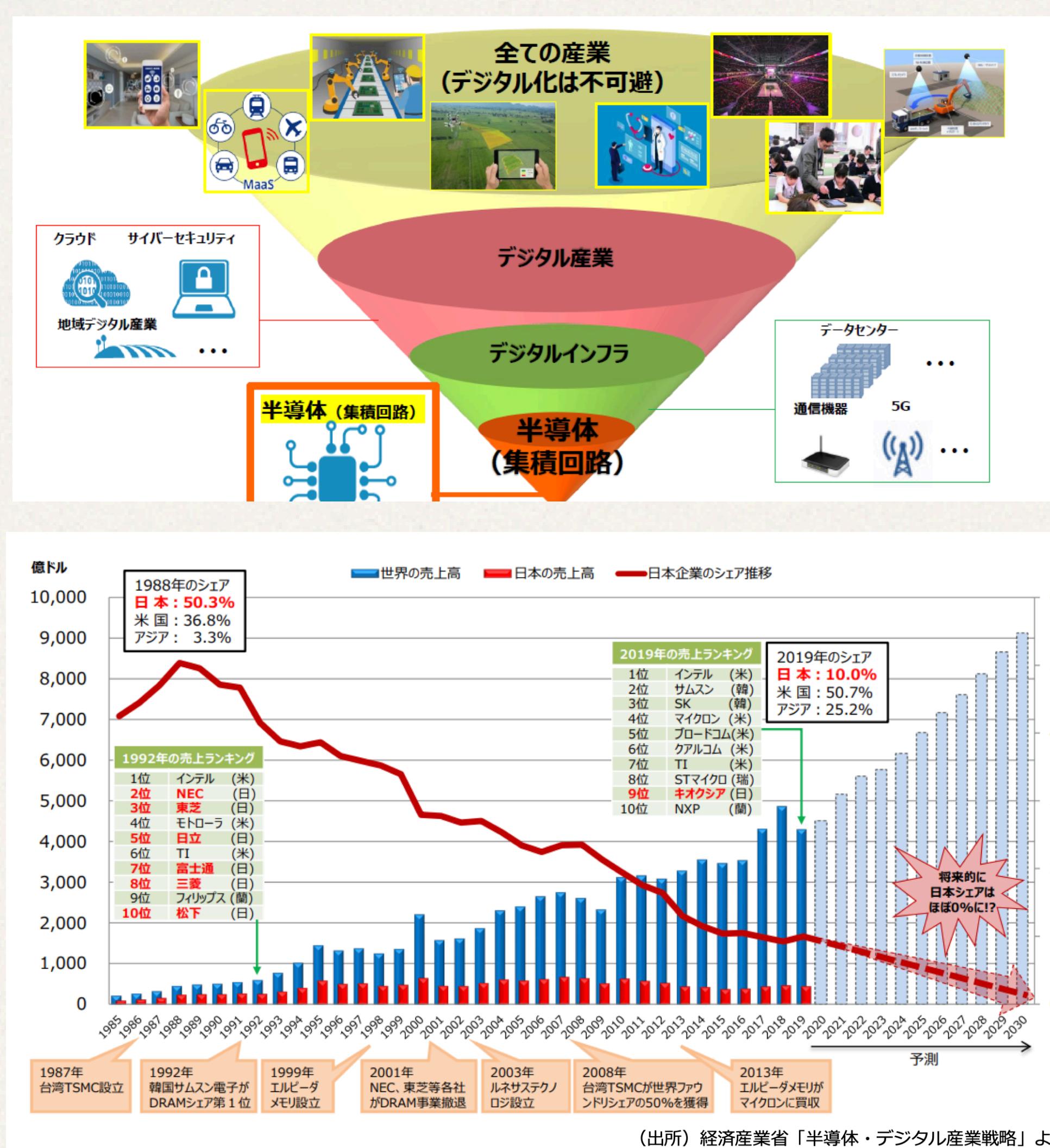
## Make ITA

# Make ITAKI Great Again!

# 半導体から見える日本の未来

# 1. 半導体とは何か

- ・私たちの生活のすべてを支える”見えない主役”
    - ・現代社会を支える  
”産業のコメ”
  - ・AI、スマホ、自動車などあらゆる製品の中核



# 2. 日本半導体、かつて 世界を制す

- ・1980年代、世界シェア”50%”
  - ・製造から設計まで一気通貫した  
供給体制

# “日の丸半導体”は、技術力と品質で世界をリードした

## 3.米中対立の最前線～日本半導体が受けける影響～

- ・21世紀の覇権争いの中心は、”技術”
  - ・先端半導体を中国に輸出制限し中国は国産化を急ぐ
  - ・半導体サプライチェーン分断、ブロック化が進行



# 【観点】 【現場の声】

# 【分析】

トランプ 関税の影 響	値下げ要請は拒否。関税負担は顧客側。最終的なコスト上昇は米国消費者へ転嫁	一時的影響は限定的。ただし米国消費者需要の鈍化が材料需要に加給する可能性あり
サプライ チェーン 戦略	中国からベトナム、マレーシア、台湾などに拠点を分散。コストよりも地政学・災害リスク回避が目的。	日本企業も”チャイナプラスワン”を実行中。サプライチェーン再編が生存戦略の中心

# 4. 企業取材：現場の声が語る”苦闘と希望”

# 取材先：レゾナック 材料メーカー

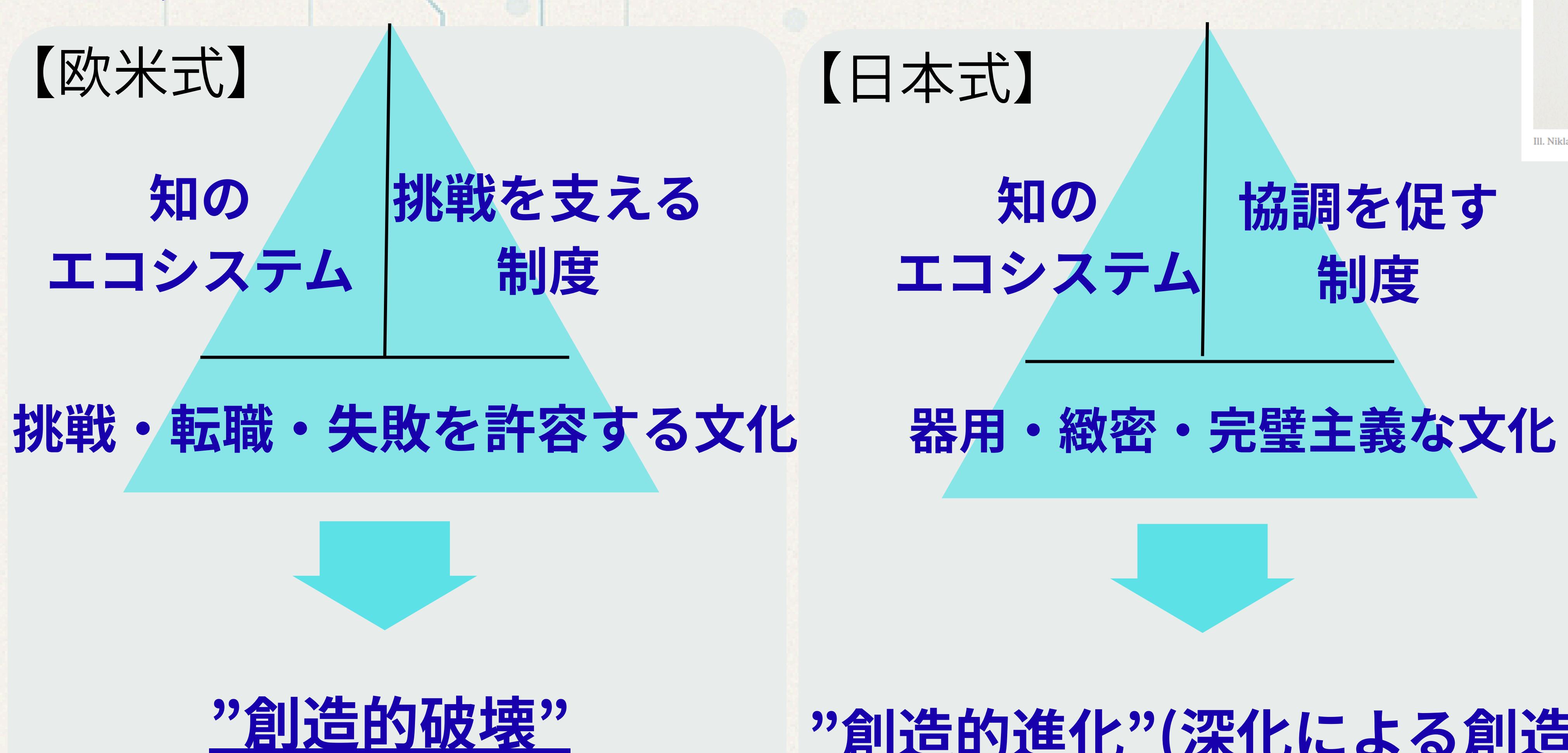
# RESONAC

Chemistry for Change

【希望】

- ・競争優位の源泉は”日本的きめ細かさ”と”信頼の品質”
  - ・「破壊ではなく協調によって進化する日本の姿」

## 5. 日本半導体復活の条件—深化による創造へ



# 2025ノーベル経済学賞 Aghionの言葉

“Creative destruction does not necessarily mean  
wiping out the old

wiping out the old. Deepening and recombining existing knowledge can be an equally powerful engine of growth.”

— Philippe Aghion (2024, Nobel Lecture Draft, The Royal Swedish Academy of Sciences)

## 参考文献

- ・「半導体業界の魅力と可能性 中部から未来を創る」、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
    - Philippe Aghion (2024), Nobel Lecture Draft: The Dynamics of Innovation and Creative Destruction
    - Philippe Aghion, Peter Howitt & Joel Mokyr (2025), Nobel Prize in Economics Lecture Series
    - Joel Mokyr (2016), *A Culture of Growth*, Princeton University Press